

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林 貴彦
全体計画	平成29年度 ~ 平成31年度			経費区分	実施計画事業費		内線	3535			
事務事業名	11720 市営住宅長寿命化事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06033400 安心して快適な住環境の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080502 土木費・住宅費・住宅建設費									
	事業	010000 市営住宅長寿命化事業									
事業目的						事業概要・効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の長寿命化を図る ・快適な住環境の整備 						<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画により耐震補強及びリフォームによる住戸改善工事により、居住環境の整備を図る。 ・老朽化している機械設備や電力不足の電気設備等の改善により、快適で衛生的な居住環境を図る。 ・経年劣化等により改善が必要な団地の屋根の葺き替えや塗装、外壁の塗装により長寿命化を図る。 					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・豊丘団地(59~66、72~75号)屋根等改修工事 3棟12戸 ・西原団地屋根等改修工事 5棟5戸 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊丘団地(67~71号)屋根等改修工事 1棟5戸 ・西原団地屋根等改修工事 2棟2戸
平成29年度 予定	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・仁礼団地屋根等改修工事 1棟2戸 	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		69,772	54,868
特定 財源	国庫支出金	2,851	1,066
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		66,921	53,802
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,887.6	2,165.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,887.6	2,165.7
市民一人当たりの経費		1.4	1.1
総額		72,659.6	57,033.7

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	19,008	豊丘団地屋根等改修工事1棟5戸, 西原団地屋根等改修工事2棟2戸 ほか
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	50,764	公有財産購入費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	4,104	仁礼団地屋根等改修工事1棟2戸
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	50,764	公有財産購入費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	長寿命化計画に伴う工事を行い安全で快適な住居を提供するため必要不可欠な事業であり、今後も計画的に進めていく必要あり。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	長寿命化を図り、コストの削減につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	交付金を活用し、コスト削減を図りながら進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

長寿命化計画に沿った事業ができているが、今後、この事業を進めるうえで、社会情勢の変化や、財源等も考慮しながら、市営住宅長寿命化計画の見直しが必要となってくると思われる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

長寿命化計画を見直しながら、必要な市営住宅の整備を引き続き進める必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

公営住宅の長寿命化計画に沿って、住宅改修・リフォームによる住宅環境の整備を引き続き行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--